

令和4年度

事業報告

社会福祉法人 羽後町福社会

目 次

理事会の開催状況について	1	
評議員会の開催状況について	3	
運営方針についての総括	4	
各委員会・班の事業報告		
企画委員会	行事班	6
生活向上委員会	生活向上班	10
	給食班	11
施設管理委員会	環境班	12
	安全対策班（避難訓練）	19
	冬期対策班	21
広報学習委員会	広報班	22
	学習計画班	23
感染対策委員会	保健衛生班、感染対策班	24
BCP準備委員会		26
虐待防止・人権擁護委員会		26
各作業班の事業報告		
農作業班		27
軽作業班		29
訓練班		30
いこいグループ		31
生活班		32
菌床しいたけ		33
相談支援事業報告		34
短期入所・日中一時支援事業報告		35
利用者の健康状態について		36
施設外研修報告		39

1. 理事会の開催状況について

令和4年度において下記の通り理事会を開催した。

開催年月日	議 題
4年度第1回 令和4年 6月8日 場所 羽後町コミュニ ティセンター	<ol style="list-style-type: none"> 1. 令和3年度 社会福祉法人羽後町福祉会事業報告について 2. 令和3年度 社会福祉法人羽後町福祉会 ひばり野園拠点区分 収支決算報告について *上記に係る監査報告について *定時評議員会の開催について 3. 社会福祉法人羽後町福祉会 定款の変更(案)について 4. 社会福祉法人羽後町福祉会 職員給与規則の改正(案)について
4年度第2回 令和4年 7月6日 場所 ひばり野園	<ol style="list-style-type: none"> 1. 社会福祉法人羽後町福祉会 ひばり野園30周年式典について
4年度第3回 令和4年 9月28日 場所 ひばり野園	<ol style="list-style-type: none"> 1. 社会福祉法人羽後町福祉会 育児・介護休業等に関する規則の改正(案)について 2. 社会福祉法人羽後町福祉会 職員給与規則の改正(案)について 3. 社会福祉法人羽後町福祉会 再雇用職員給与規則の改正(案)について 4. 社会福祉法人羽後町福祉会 嘱託職員・臨時的任用職員給与規則の改正(案) について
4年度第4回 令和4年 12月5日 場所 羽後町コミュニ ティセンター	<ol style="list-style-type: none"> 1. 社会福祉法人羽後町福祉会 職員給与規則の改正(案)について
4年度第5回 令和4年 12月22日 場所 羽後町コミュニ ティセンター	<ol style="list-style-type: none"> 1. 令和4年度東京都 障害者支援施設等の停電時における BCP(事業継続計画)運用等支援事業(案)について 2. 令和4年度社会福祉法人羽後町福祉会 ひばり野園拠点区分第1次資金収支補正予算(案) について

<p>4年度第6回 令和5年 1月11日 場所 羽後町コミュニ ティセンター</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 社会福祉法人羽後町福祉会 照明設備改修工事の一般競争入札の結果について 2. 社会福祉法人羽後町福祉会 第2回評議員会の開催について 3. 社会福祉法人羽後町福祉会 役員等賠償責任保険契約について
<p>4年度第7回 令和5年 3月16日 場所 羽後町コミュニ ティセンター</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 社会福祉法人羽後町福祉会 職員給与規則の改正（案）について 2. 社会福祉法人羽後町福祉会 障害者支援施設事業 ひばり野園運営規程の改正（案）について 3. 社会福祉法人羽後町福祉会 ひばり野園短期入所事業所運営規程の改正（案） について 4. 令和4年度 社会福祉法人羽後町福祉会 ひばり野園拠点区分第二次資金収支補正予算（案） について 5. 令和5年度 社会福祉法人羽後町福祉会 運営支援・事業計画（案）について 6. 社会福祉法人羽後町福祉会 経理規程の改正（案）について 7. 令和5年度 社会福祉法人羽後町福祉会 ひばり野園拠点区分資金収支予算（案）について 8. 社会福祉法人羽後町福祉会 第3回評議員会の開催について

2. 評議員会の開催状況について

令和4年度において下記の通り評議員会を開催した。

開催年月日	議 題
4年度第1回 令和4年 6月23日 場所 羽後町コミュニ ティセンター	1. 令和3年度 社会福祉法人羽後町福祉会 事業報告について 2. 令和3年度 社会福祉法人羽後町福祉会 ひばり野園拠点区分収支決算報告について *上記に係る監査報告について 3. 社会福祉法人羽後町福祉会 定款の変更(案)について
4年度第2回 《決議の省略》 令和5年 1月30日	1. 令和4年度 社会福祉法人羽後町福祉会 ひばり野園 拠点区分第一次資金収支補正予算(案)について
4年度第3回 令和5年 3月28日 場所 羽後町コミュニ ティセンター	1. 令和4年度 社会福祉法人羽後町福祉会 ひばり野園拠点区分第二次資金収支補正予算(案) について 2. 令和5年度 社会福祉法人羽後町福祉会 運営支援・事業計画(案)について 3. 令和5年度 社会福祉法人羽後町福祉会 ひばり野園拠点区分資金収支予算(案)について

3. 工事の実施について

令和4年度において実施した主な工事は下記の通りである。

(1) ひばり野園 車庫シャッター交換工事

完成 令和4年 7月15日

(2) ひばり野園 厨房LPG配管更新工事

完成 令和4年 9月16日

(3) ひばり野園 照明設備改修工事

完成 令和5年 3月24日

運営方針についての総括

1. 管理体制や支援体制の充実を図り、適正な施設運営を行う

障害者が安心して暮らせる社会の実現をめざして、平成18年4月に障害者自立支援法が施行された。ひばり野園では平成20年4月1日から自立支援法による新事業体系に移行し、日中活動の場として「生活介護」、住まいの場として「施設入所支援」のサービスを提供している。また、地域で暮らす障害児・者のための在宅福祉対策として、「短期入所」「日中一時支援」「相談支援事業」等を実施している。

施設は創設31年目を迎え、利用者の高齢化や障害の重度化に伴い食事摂取に支障のある利用者も増加している。言うまでもなく、食事は利用者にとって楽しみであるとともに提供する施設でも大切なサービス提供の一環と位置づけている。このため、23年9月からは医療機関等の協力を得て利用者全員の「栄養ケア計画」を策定し、適切な食事提供を行っている。

障害者制度改革の中で、障害者自立支援法に代わる新法として、「障害者総合支援法」が平成25年4月から施行されている。支援の必要度を表す「障害程度区分」は「障害支援区分」と名称・定義が改められ、平成26年4月から施行されている。

令和4年度も「新型コロナウイルス感染症対策」に重点を置き、その対応に努めた。

衛生面においては、職員の毎日の検温、手洗いやうがい、アルコール消毒、マスク着用等を励行し、全国や地域の情報を取りまとめ、当施設の独自のガイドラインを作成し、状況に応じ対策会議を開き見直しを随時かけ、職員一体となり感染症対策に取り組んだ。

令和5年度においては、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが2類から5類感染症へ移行となるが、近隣でも福祉施設のクラスター発生もあり、規制緩和も含め引き続き感染症対策を検討して行く必要が求められる。

2. 施設設備の整備を促進し、快適な生活環境を整える

設備面では東京都の省エネ化対策としての助成金を活用し、施設内の照明設備の改修を実施した。

主に非常用照明や運動場の照明をLED照明に変更したことにより、今後の節電状況に期待したい。

利用者の安全を第一とし、毎日を健康で楽しく送れるようにするなど管理体制やメンテナンスに力点を置きながら保守管理や改修に努めてきた。施設内の設備においては老朽化も進んできており、様々な危険が潜んでいる可能性があることを常に念頭におき、定期の点検を怠ることのないよう万全の体制で臨んできた。LPガスの定期点検において、厨房内の配管にガス漏れが発見された。配管全体が老朽化し腐食等も見られたため、直ちに配管の更新工事を実施した。今後もさらに改善点を見出して補修・改修等に努め、快適な生活環境を提供できるよう整備を図っていく。

3. 全職員、職責の重要性を自覚し、研鑽と実践に努める

良質なサービスを安定的・継続的に提供していくためにも職員の意識改革を最大の課題として取り組んできた。職員に一段と強く問われている専門性をフルに発揮するよう、研修への積極的参加をはじめ、サービスの向上を自覚させ、課題の発見や改善・提案が率先してできるよう指導に当たってきた。

施設外研修はオンライン研修を中心にコロナの状況に配慮しながら実施した。

4. 生命財産の安全確保に努め、災害防止体制の確立を図る

安全・安心の確保は施設が提供する基本的なサービスであり最重要課題である。消防法改正により利用者の生命、財産を守るため、スプリンクラー設備や災害時対応の発電機を設置している。更に、交流ホームにスプリンクラーを設置したことで、地域からの利用者も安全・安心に利用できるようにした。ご家族の方々は、施設サービスの中に安全を求めていることを常に念頭に置き、設備の整備と管理、災害時に備えた訓練と点検を怠ることのないよう万全を期してきた。

本年度は災害時発生時に備えたBCP（事業継続計画）の策定に努めたが、今後も様々な対策を検討し改善して行く必要がある。

5. 施設の社会化に努め、地域福祉の発展に寄与する

施設は、福祉サービス提供という高度の公共性を担った目的をもっている。そのためにも地域に開かれた施設になることに心がけてきた。羽後町、湯沢市、横手市、大仙市からの依頼による日中一時支援の受け入れ、相談支援事業の受託等を行った。より積極的に地域へ溶け込み、信頼される施設を目指していく。法が求めている地域移行のためには、地域の理解と協力が欠かせない。最も身近な存在である六沢地域をはじめ、行政や社会福祉協議会等、地域の関連機関との連携をより積極的に推し進めると同時に、施設が地域福祉の拠点として認知されるよう今後も努力していく。

6. 利用者個々の心身の状況を把握しての支援援助の充実向上について

利用者の平均年齢は50.8歳、体力の低下が顕著に現れてきている。入院や通院回数も増加しており、また長期入院となるケースも増えてきている。年々利用者の方々の体力低下、それに伴う怪我等のリスクは増えており、高齢化、重度化を実感する毎日が続いている。支援者として、予測しがたい事態に迅速に対処するため、利用者の心身の小さな変化にも敏感に対応できるように万全を期し、健康維持を最重点目標とし、支援援助の向上に努力してきた。

7. 保護者、家族との連携を密にし、相互の信頼を深めることについて

原則月一度の近況報告を怠ることのないよう努めてきた。しかし、保護者の高齢化、諸事情により、長期間全く連絡が取れないというご家族もある。このため、利用者支援のみならずご家族への支援のあり方についても一考を要することを強く実感している。そのためにも当該区市町村との連携をさらに密にしていく必要がある。

また、家族会とは相互の信頼関係を維持発展させていくことが最も重要視されてきている時だけに、利用者ご本人の将来のためにも施設がこれまで以上に深い関わりをもっていくべき時期にきている。

8. 広報の配布・インターネットを通じての地域への浸透について

広報「ひばり」を町内全世帯に配布している。反響は概ね良好と思われる。地域との密着を進めていくため、ホームページも随時更新し内容の充実に努めてきた。

各委員会の事業報告

◇企画委員会 行事班

下記のとおり行事を企画し実施した。

行 事 名	月 日	内 容 ・ 実 施 状 況
観 桜 会	4月26日	会 場 ひばり野園 食堂、作業室 参加者 利用者 76名(交流ホーム3名含) 職員 41名 昼 食 花見弁当 余 興 利用者によるカラオケ大会 ドライブ
内 容 反省点と課 題		<ul style="list-style-type: none"> ・ コロナ感染症により男女分かれての食事を主軸とした観桜会となった。 ・ 今年度は男性が園バス使用予定であったが女性が園バスを使用し、男子が新型ノア、ハイエースを使用した。 ・ ドライブ出発まで時間を要したが、天候にも恵まれ楽しんで頂けた。 ・ 支援者の昼休憩を見守りの強化の為、予め時間を決めスムーズだった。 ・ 食事は皆さん、「美味しかった」と好評でした。

行 事 名	月 日	内 容 ・ 実 施 状 況
園内レクリ エーション 大会	5月26日	会 場 ひばり野園 運動場 参加者 利用者 75名 職員 45名
内 容 反省点と課 題		<ul style="list-style-type: none"> ・ 感染症対策の為、男女各分かれての内容となった。 ・ Tシャツやジャージ、靴などの準備を早めに知らせる事で、余裕を持って準備が出来た。新入所者には動きやすい服を準備してもらった。 ・ けがなどなく参加してもらうことが出来た。 ・ 毎日ウォーキングなどは行っているが、声を出して応援したり利用者の笑顔と楽しむ姿が見られた。 ・ 新入所者のTシャツやジャージが揃っていないので、Tシャツだけでも揃えれば統一感があるのでは。

行 事 名	月 日	内 容 ・ 実 施 状 況
ふれあいス ポーツ大会	6月 日	会 場 参加者
内 容 反省点と課 題		<ul style="list-style-type: none"> ・ 秋田県知的障害者福祉協会より、「新型コロナウイルス感染の拡大により、今年度は休止します」との通知あり。

行事名	月日	内容・実施状況
ふれあい広場	7月 日	会場 参加者
内容 反省点と課題		・コロナ感染症対策の為、参加見合わせる。

行事名	月日	内容・実施状況
夏祭り	7月28日	会場 園内 参加者 利用者 75名 職員 52名 ご家族・地域住民等 0名 ボランティア 0名
内容 反省点と課題		<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ感染症により、利用者と職員での開催となった。そのためボランティア、招待芸能、地域住民、ご家族など全ての来賓、来客無しとした。 ・男女分かれての開催となる、七夕飾り、的あて、ヨーヨー釣り、くじ引き、お神輿、ダンス、かき氷提供など盛りだくさんで楽しんでもらった。 ・夕食後に花火も行うことが出来、好評だった ・規模を縮小し、久しぶりの外での開催は皆さん喜んでいた。 ・お祭りの雰囲気を感じてもらうため、装飾などを工夫した。 ・勤務の調整をして頂き、人員確保してもらいたい。

行事名	月日	内容・実施状況
夏期帰省	月 日 ～ 月 日	※東京方面への送迎 ○送り 月 日 ○迎え 月 日
内容 反省点と課題		・中止。

行事名	月日	内容・実施状況
ひばり野園祭	10月27日	テーマ つながり 場所 ひばり野園内 招待芸能 栗林聡子さん（映像鑑賞） 参加者 利用者 75名 ご家族 0名 ボランティア 0名 来賓 0名 職員 50名 内容 ・園内での食事と余興。
内容 反省点と課題		<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ感染症の影響により職員、利用者のみで実施。 ・男女の会場を別々にしてそれぞれ係が準備し、映像鑑賞、会食、ゲーム、余興、喫茶タイム等楽しんでもらった。 ・来賓、来客、ボランティア、ご家族なども全く無い園祭となったが、食事、余興などが好評だった。 ・ビデオ、カラオケなど機材の劣化の確認が必要。 ・感染症対応に伴う判断の時期の検討。 ・各所の準備期間の確保。 ・食事の際、見守りの職員配置の段取り。

行事名	月日	内容・実施状況
クリスマス会	12月20日	<ul style="list-style-type: none"> ・会場 各棟内 ・参加者 利用者 79名 職員 45名
内容 反省点と課題		<ul style="list-style-type: none"> ・感染症の影響により男子、女子分かれての開催となった。 ・一日の流れ(プログラム)を掲示したことで、利用者が落ち着いて参加できた ・食事は皆さんに好評だった。 ・入浴を中止したため、余興をゆっくりやることが出来た。 ・支援員の休憩の時間の調整が難しかったが、係が連携しながら対応した。 ・劣化したオーナメントを処分し、複数購入した。 ・食事の際、現場の状況に応じ職員配置と連携が必要である。 ・食事に使用した透明カップがわかりにくく、口に入れてしまう恐れあり、注意が必要だった。

行事名	月日	内容・実施状況
正月帰省	12月日 ～ 1月日	※東京方面への送迎 ○送り 12月日 利用者名 職員名 ○迎え 1月日 利用者名 職員名
内容 反省点と課題 ・感染症の影響により実施せず。		

行事名	月日	内容・実施状況
節分 (還暦を 祝う会)	2月3日	<ul style="list-style-type: none"> 各棟内にて年男、年女による豆まきとレクリエーションを実施 年女2名
内容 反省点と課題 <ul style="list-style-type: none"> 各棟でそれぞれ還暦、年女年男の利用者による豆まき、ゲームなどを行った おやつに不二家ほっぺ、カフェオレ、ムース食の方へはプリンなど柔らかいものを提供した。 男子は発熱者対応もあり、人手の調整が難しかった。 安全な飲食には人員の確保が必要。 節分用品一式、格納庫隣の倉庫 裱は運動場倉庫へ保管している。 		

※その他

- ・誕生会については各月において実施。
- ・実習生受入れ状況
なし
- ・ボランティア受入れ状況
なし

◇生活向上委員会

<生活向上班>

○目的 利用者の生活向上を図るため、適時会議の開催や意見の提案、決定した案件の周知徹底を図る。また住みよい生活環境の提供を行なう。

○内容

- 1、生活向上に向けた適時会議の開催
- 2、チャレンジデーなどの行事の参加立案
- 3、月間目標の作成と掲示
- 4、音楽療法の実施
- 5、季節ごとの衣類管理
- 6、利用者の年間表彰
- 7、支援システムについて、記録方法の最適化を図る
- 8、職員会議などの会議内容などの充実化
- 9、園内の環境整備、装飾 他

○年間の目標

- 4月 居室の整理整頓をしましょう 5月 衣類の整理整頓をしましょう
6月 気温に適した衣類をしましょう 7月 こまめな水分補給をしましょう
8月 ウォーキングをがんばりましょう 9月 こまめな水分補給をしましょう
10月 ウォーキングで体力づくりをしましょう
11月、12月 こまめな手洗い、うがいをしましょう
1月 換気と加湿に気を付けましょう 2月 ウォーキングをがんばりましょう
3月 居室掃除と整理整頓を心掛けましょう

○事業報告

・前年に続き、外部講師を招いた音楽療法や、理学療法士を招いての利用者個別の体操や運動は行うことが出来ませんでした。講師の方々とは定期連絡を続けている為、感染症の流行が治まり次第、企画は実施します。

・映写会では無料のインターネット動画を利用し、動画視聴を行いました。マンネリ感がある為、有料の動画配信サービスの利用を検討しています。

・外部との交流は難しく、各棟では装飾等で園内に季節感を持たせる演出を行いました

・年間の目標は各棟と食堂に掲示し、月ごとに絵を用いた分かり易い物を提示しました

・職員会議後の勉強会を2回開催することが出来ました。1回は成年後見人制度をテーマに行ってもらいましたが、園で制度を利用する方が多い反面、どう機能しているかよく分からないといった声があり、勉強会後は成年後見人についての理解ができたとの声が多くありました。他、研修に参加した職員の発表もありました。次年度は研修に参加した職員から、感銘を受けた部分などの発表をしてもらう形をとると多くの勉強会を実施できるように思われました。

<給食班>

1. 業務委託について

- ① 委託業者(日清医療食品株式会社)への契約条件等協議・確認
- ② 定期的な給食会議開催により給食内容についての協議・意見交換

2. 食事について

○行事食

- ・ 4月 観桜会
- ・ 7月 夏祭り
- ・ 10月 ひばり野園祭
- ・ 12月 クリスマス会

○選択メニュー

- ・ 行事食のない月に実施。

○その他

- ・ 土用の丑の日、お正月、バレンタインデー、ひな祭りなど季節の行事に合わせて特別メニューを提供。

3. 災害時対応について

非常食は消費期限が切れる前に給食に取り入れ、常時確保するようにしている。

4. 療養食について

嘱託医の指示のもとに実施し、継続中である。

- ・ 腎臓病食

・ 事業報告

感染症対応のため男女別々の場所での食事を継続中。食事について利用者から意見を聞き、可能な限り要望に応えられるようにし、行事食の際には見た目にも楽しめるよう配慮した。また、加齢に伴い身体機能や嚥下機能の低下がみられるため、利用者の体調や状態に応じた食事内容を検討し、提供した。

今後も他部署との連携を図りながら、利用者の体調の変化に合わせて食事の提供を行う必要がある。

◇施設管理委員会

<環境班>

修理・補修・補充等

4月

5月

- ・清掃用具の補充 三共産業
 - ・食堂窓清掃(内外) ほそや電器
 - ・食堂床ワックス掛け ほそや電器
 - ・エアコンメンテナンス ほそや電器
- (食堂天埋エアコンクリーニング3台)

6月

- ・清掃用具の補充 ヤマダ電機、ホームック羽後店
 - ・園外周の草刈り作業(法面等) 羽後町シルバー人材センター
 - ・食堂床メンテナンス ほそや電器
 - ・エアコンメンテナンス ほそや電器
- (厨房休憩室、食品庫壁掛2台、厨房天吊1台、会議室天埋2台、園長室天埋1台、事務室天埋2台、管理棟廊下天埋1台、医務室天埋1台、洗濯室天吊1台、作業室天吊2台、管理棟廊下壁掛9台、ひばりの子壁掛5台、職員更衣室壁掛2台)
- ・網戸新設工事 片桐産業
- (女子棟～脱衣場1枚、倉庫1枚、管理棟～事務室1枚、相談室1枚、支援室2枚、洗濯室前廊下1枚、医務室3枚、食堂前廊下1枚、職員トイレ男子1枚、女子1枚)

7月

- ・水栓パイプ交換の為、泡沫SUパイプ170×2購入 ホームック羽後店
 - ・蛍光灯の補充 イーライン
 - ・男子棟居室きりのエアコン修理 ほそや電器
 - ・女子棟居室ゆりのコンセント破損 大日向電機
 - ・男子棟居室クロス張替、廊下ボード張替とクロス張替 インテリア街の灯
- (すずかけ、やなぎ、ななかまど)

8月

- ・清掃用具の補充 三共産業
- ・外部補修工事 小野左官
- ・男子棟廊下換気扇設備工事(新設) 大日向電機

9月

- ・男子棟で使用ダンプレート購入 ホームック羽後店
- ・冬囲いの材料購入 ホームック羽後店、コメリ湯沢店

10月

- ・園内床メンテナンス
(交流ホーム、男子棟女子棟共有廊下、管理棟～食堂、作業室、共有廊下、支援員室、
医務室、事務室、運動場) ほそや電器
- ・男子棟居室テレビ設置の為、部品購入 ホームック羽後店
- ・浴室電球補充 ほそや電器
- ・マキタ電動工具購入 ホームック羽後店

11月

- ・清掃用具補充 三共産業

12月

1月

- ・清掃用具補充 三共産業
- ・ひばりの子、エアコンリモコン購入 ほそや電器

2月

- ・清掃用具の補充 三共産業

3月

- ・居室で使用の液晶23型テレビ処分 むらかみ電気

【園内清掃】

◎4月実施内容 (R4.4.15)

- ・支援員室 窓、床ハイター消毒、エアコンフィルター清掃。
- ・会議室 床面清掃、エアコンフィルター清掃。
- ・食堂 イス汚れ落とし、テーブル拭き、T字ほうきゴミ取り、下膳場付近の壁拭き。
- ・トイレ 洗面所、シンク、鏡、床、換気扇の清掃、便器の尿石取り。
- ・各棟 居室、廊下のエアコンフィルター清掃。
- ・風除室 床掃き、窓掃除。
- ・各棟 宿直室掃除。
- ・ひばりの子 エアコンフィルター清掃。
- ・交流ホーム 清掃。

◎5月実施内容 (R4.5.19)

- ・支援員室 窓、床ハイター消毒、エアコンフィルター清掃。
- ・会議室 床面清掃、エアコンフィルター清掃。
- ・食堂 イス汚れ落とし、テーブル拭き、T字ほうきゴミ取り、下膳場付近の壁拭き。
- ・トイレ 洗面所、シンク、鏡、床、換気扇の清掃、便器の尿石取り。
- ・各棟 居室、廊下のエアコンフィルター清掃。
- ・各棟 宿直室掃除。
- ・ひばりの子 エアコンフィルター清掃。
- ・交流ホーム 清掃。

◎6月実施内容 (R4.6.16)

- ・支援員室 窓、床ハイター消毒、エアコンフィルター清掃。
- ・会議室 床面清掃、エアコンフィルター清掃。
- ・食堂 イス汚れ落とし、テーブル拭き、T字ほうきゴミ取り、下膳場付近の壁拭き。
- ・トイレ 洗面所、シンク、鏡、床、換気扇の清掃、便器の尿石取り。
- ・各棟 居室、廊下のエアコンフィルター清掃。
- ・風除室 床掃き、窓掃除。
- ・各棟 宿直室掃除。
- ・ひばりの子 エアコンフィルター清掃。
- ・交流ホーム 清掃。

◎7月実施内容 (R4.7.14)

- ・支援員室 窓、床ハイター消毒、エアコンフィルター清掃。
- ・会議室 床面清掃、エアコンフィルター清掃。

- ・食 堂 イス汚れ落とし、テーブル拭き、T字ほうきゴミ取り、下膳場付近の壁拭き。
- ・ト イ レ 洗面所、シンク、鏡、床、換気扇の清掃、便器の尿石取り。
- ・各 棟 居室、廊下のエアコンフィルター清掃。
- ・風 除 室 床掃き、窓掃除。
- ・各 棟 宿直室掃除。
- ・ひばりの子 エアコンフィルター清掃。
- ・交流ホーム 清掃。

◎8月実施内容 (R4.8.18)

- ・支 援 員 室 窓、床ハイター消毒、エアコンフィルター清掃。
- ・会 議 室 床面清掃、エアコンフィルター清掃。
- ・食 堂 イス汚れ落とし、テーブル拭き、T字ほうきゴミ取り、下膳場付近の壁拭き。
- ・ト イ レ 洗面所、シンク、鏡、床、換気扇の清掃、便器の尿石取り。
- ・各 棟 居室、廊下のエアコンフィルター清掃。
- ・風 除 室 床掃き、窓掃除。
- ・各 棟 宿直室掃除。
- ・ひばりの子 エアコンフィルター清掃。
- ・交流ホーム 清掃。

◎9月実施内容 (R4.9.15)

- ・支 援 員 室 窓、床ハイター消毒、エアコンフィルター清掃。
- ・会 議 室 床面清掃、エアコンフィルター清掃。
- ・食 堂 イス汚れ落とし、テーブル拭き、T字ほうきゴミ取り、下膳場付近の壁拭き。
- ・ト イ レ 洗面所、シンク、鏡、床、換気扇の清掃、便器の尿石取り。
- ・各 棟 居室、廊下のエアコンフィルター清掃。
- ・風 除 室 床掃き、窓掃除。
- ・各 棟 宿直室掃除。
- ・ひばりの子 エアコンフィルター清掃。
- ・交流ホーム 清掃。

◎10月実施内容 (R4.10.13)

- ・支 援 員 室 窓、床ハイター消毒、エアコンフィルター清掃。
- ・会 議 室 床面清掃、エアコンフィルター清掃。
- ・食 堂 イス汚れ落とし、テーブル拭き、T字ほうきゴミ取り、下膳場付近の壁拭き。
- ・ト イ レ 洗面所、シンク、鏡、床、換気扇の清掃、便器の尿石取り。
- ・各 棟 居室、廊下のエアコンフィルター清掃。

- ・風除室 床掃き、窓掃除。
- ・各棟 宿直室掃除。
- ・ひばりの子 エアコンフィルター清掃。
- ・交流ホーム 清掃。

◎11月実施内容 (R4.11.11)

- ・支援員室 窓、床ハイター消毒、エアコンフィルター清掃。
- ・会議室 床面清掃、エアコンフィルター清掃。
- ・食堂 イス汚れ落とし、テーブル拭き、T字ほうきゴミ取り、下膳場付近の壁拭き。
- ・各棟 居室、廊下のエアコンフィルター清掃。
- ・風除室 床掃き、窓掃除。
- ・各棟 宿直室掃除。
- ・トイレ 洗面所、シンク、鏡、床、換気扇の清掃、便器の尿石取り。
- ・ひばりの子 エアコンフィルター清掃。
- ・交流ホーム 清掃。

◎12月実施内容 (R4.12.15)

- ・支援員室 窓、床ハイター消毒、エアコンフィルター清掃。
- ・会議室 床面清掃、エアコンフィルター清掃。
- ・食堂 イス汚れ落とし、テーブル拭き、T字ほうきゴミ取り、下膳場付近の壁拭き。
- ・各棟 居室、廊下のエアコンフィルター清掃。
- ・風除室 床掃き、窓掃除。
- ・各棟 宿直室掃除。
- ・トイレ 洗面所、シンク、鏡、床、換気扇の清掃、便器の尿石取り。
- ・ひばりの子 エアコンフィルター清掃。
- ・交流ホーム 清掃。

◎1月実施内容 (R5.1.17)

- ・支援員室 窓、床ハイター消毒、エアコンフィルター清掃。
- ・会議室 床面清掃、エアコンフィルター清掃。
- ・食堂 イス汚れ落とし、テーブル拭き、T字ほうきゴミ取り、下膳場付近の壁拭き。
- ・各棟 居室、廊下のエアコンフィルター清掃。
- ・風除室 床掃き、窓掃除。
- ・各棟 宿直室掃除。
- ・トイレ 洗面所、シンク、鏡、床、換気扇の清掃、便器の尿石取り。
- ・ひばりの子 エアコンフィルター清掃。
- ・交流ホーム 清掃。

◎2月実施内容 (R5.2.17)

- ・支援員室 窓、床ハイター消毒、エアコンフィルター清掃。
- ・会議室 床面清掃、エアコンフィルター清掃。
- ・食堂 イス汚れ落とし、テーブル拭き、T字ほうきゴミ取り、下膳場付近の壁拭き。
- ・各棟 居室、廊下のエアコンフィルター清掃。
- ・風除室 床掃き、窓掃除。
- ・各棟 宿直室掃除。
- ・トイレ 洗面所、シンク、鏡、床、換気扇の清掃、便器の尿石取り。
- ・ひばりの子 エアコンフィルター清掃。
- ・交流ホーム 清掃。

◎3月実施内容 (R5.3.16)

- ・支援員室 窓、床ハイター消毒、エアコンフィルター清掃。
- ・会議室 床面清掃、エアコンフィルター清掃。
- ・食堂 イス汚れ落とし、テーブル拭き、T字ほうきゴミ取り、下膳場付近の壁拭き。
- ・各棟 居室、廊下のエアコンフィルター清掃。
- ・各棟 宿直室掃除。
- ・トイレ 洗面所、シンク、鏡、床、換気扇の清掃、便器の尿石取り。
- ・ひばりの子 便器の尿石取り、エアコンフィルター清掃。
- ・交流ホーム 清掃。

【園外清掃】

◎6月実施内容 (R4.6.3)

- ・外窓、ベランダ清掃。(動噴霧器)
- ・食堂前玄関、ゴミ置き場の清掃。(不燃物の置き場・籠洗浄)
- ・エヤゾール散布。
- ・遮光ネット張り。

◎10月実施内容 (R4.10.14)

- ・遮光ネット外し。(R4.10.14)
- ・クモの巣取り、外窓、ベランダ清掃。(動噴霧器)
- ・食堂前玄関、ゴミ置き場の清掃。(不燃物の置き場・籠洗浄)
- ・エヤゾール散布。

○事業報告

予定していた清掃業者立ち入りの床メンテナンス及びエアコンメンテナンス作業は、新型コロナウイルス感染症対策により、事前に業者の方に立ち入る人数分の検温を行なって頂き実施しました。

毎月の園内清掃、年2回の園外清掃についてですが、予定通り実施する事が出来ました。そして新棟を増設したこともあり清掃箇所も増え人員確保に苦勞した。

園内清掃では、特にトイレ便器の尿石落としを重点に清掃を行ない、園外清掃は、感染症対策により、密にならないよう男女わかれて各箇所の清掃を行ないました。

◇安全対策班（避難訓練）

4月～緊急時連絡体制、連絡網配布

5月～火災想定避難訓練

R4 5月27日

<想定>

◎感染症対策実施中のため男女別々の日程で、各新棟のディルームから出火する想定で行った。

<反省点>

- ・安全対策と係り以外、「慣れ」で、自分は関係ないという場面が多く見受けられる。職員として避難誘導を進んで行ない、同じ反省を繰り返さないよう訓練に参加して欲しかった。

7月～緊急連絡網を使用した職員駆けつけ訓練

・実施日 R4 7月7日

<想定>

◎18時、在勤職員以外が帰宅した後、ひばり野園内にて火災発生の想定。ただちに非常警報装置を使用し緊急連絡網に沿って全職員に電話連絡。園への到着時間を計測し、災害における集合目安として訓練を実施。

<反省点>

「誰に電話をすればよいか分からなかった」「次の人へ連絡をしなかった」「最新の連絡網を確認していなかった」などの反省が報告がされてます。係だけが行うのではなく、職員として責任を持った行動で訓練に参加して頂きたいと思います。

9月～総合防災訓練

・実施日 R4 9月9日

<想定>

◎今年度男女ともに新棟が増築された為、5月の避難訓練（日中想定）で火災場所を新棟ディルーム（談話室）とし、9月の避難訓練では新棟を非常口とした訓練想定を目的とした。

<反省点>

- ・女子夜勤者Aと男子夜勤者Aの伝達はしっかりと大きな声で分かりやすく落ち度がなく良かった。放送もゆっくりと3回繰り返していた。
- ・職員同士効率的に、大きな声で避難誘導行っていた。
- ・利用者全員が避難出来、事故もなく終了する事が出来た。

11月～地震に対する対応

・実施日 R4 11月20日

<想 定>

◎震度5の秋田沖を震源とする地震発生。余震の恐れがあるため第一避難場所に避難する。

<反省点>

- ・男子が始まる前からヘルメットなどを装備し、準備万端で待っていた。他の職員も、放送の指示前から、作業室に移動するよう促していた為、点呼者もその流れで、作業室に向かい点呼をしなければならなかった。訓練ではあるが、放送での指示を待ち、要項に沿った訓練に協力して頂きたい。毎年同じ反省が繰り返されている現状である。
- ・女子は放送後、利用者の方へディルームに集まるよう声掛けするよりも、ヘルメットなど装備する方が先になり、他の職員が声掛けしフォローしていた。放送後テレビを消すことが出来なかった。2回目の指示があるまでは、テレビを消して指示を待つようにして欲しい。
- ・非常放送機器の使い方を完全に把握してなかった為、放送中に戸惑う事あり、待機してから2分後に2回目の放送になっていたが、2分を待たずに2回目の放送で避難指示をしてしまった。今後は前もって確認し、放送での避難場所への指示を仰ぐようにしたい。
- ・怪我人の応急手当・搬送は、直ぐに駆け付け段取り良く手当を行っていた。
- ・全職員参加での避難訓練だったが、避難場所が屋内の為緊張感がなく、要項も理解せず参加しているように思われた。訓練ではあるが、緊張感を持ち、利用者を安全に避難する事を第一に考え、災害時に適切な判断が出来るように意識付けしてもらいたい。

3月～非常通報装置の使用方法、停電、災害時における対応方法を学ぶ。

<想 定>

◎自分で避難が困難な利用者には反復訓練を重ねることによって避難の方法を習得させると共に、職員には防火組織を編成し訓練を重ねることによって利用者の安全を確保する。

・実施日 R5 3月17日

<反省点>

- ・感染症対策もあり、男女別々で、椎茸ハウス火災想定で行なった。
- ・放送は確実に全館に放送され、避難指示の内容も問題なく伝える事が出来た。
- ・避難指示の放送を待っての避難誘導であったが、いつも作業室が避難場所になっていることで、放送の内容を聞く前に作業室に向かう利用者の方が数人いた。今回はディルームである事を伝えると問題なく移動出来ている。(男子)
- ・居室のドアの閉め忘れがあった。(男子)
- ・検索者が点呼者に検索報告する事を忘れた(男子)
- ・洗面所となりのリネンを入れている場所の検索が行われていなかった。(男子)

3月～災害に備える動画鑑賞

<想 定>

◎実際の火災や地震など映像を通して学習する事によって利用者、職員共に知識の更なる向上と、日常的な訓練の必要性を再確認する。

・実施日 R5 3月17日

<反省点>

・ユーチューブ動画は静かに落ち着いて観ることが出来、クイズにも答えたりしながら楽しく学ぶ事が出来た。(女子)

・ユーチューブ動画を観ている中で、居室に戻る方が数名いた。他の方達は、最後まで視聴する事が出来た。(男子)

<冬期対策班>

- ・撤去作業 3月～4月 ポール除去、雪囲いの撤去、駐車場フェンスの設置。
- ・冬季準備 11月 公用車、除雪車の点検整備、雪囲いポール立て、フェンスの撤去、玄関滑り止めの設置。
- ・除雪作業 11月～3月 早朝の除雪委託、駐車場、避難口の除雪。建物屋根の雪庇落とし、雪下ろし作業。
- ・周辺整備 3月 破損箇所、危険箇所の確認。重機の特定自主点検。

【除排雪状況等報告】

- ・園所有 コマツWA-100での早朝委託除雪を行なった。
(契約期間：令和4年11月16日～令和5年3月15日)
- ・他、必要時は手作業による氷柱・雪庇落としを行ない、重機を使用してひばりの子脇の除雪などを実施した。

◇広報学習委員会

<広報班>

【活動内容】

- ・ 4/26 観桜会
 - ・ 5/26 園内レクリエーション
 - ・ 6 県南ふれあいスポーツ大会
(中止)
 - ・ 7/28 夏祭り
 - ・ 12/20 クリスマス会
 - ・ 2/3 節分
 - ・ 3/3 ひなまつり
- } 各種行事取材

- ・ 8/29 12/5 セブンイレブン移動販売
- ・ 各月誕生会
- ・ 開園30周年記念 延期

- ・ 6/12 広報ひばり 85号 企画編集(企画決定)
編集開始 ※8月1日発行
- ・ 7/27 広報ひばり 85号 ご家族、各機関等へ発送
- ・ 8/1 広報ひばり 85号 発行
- ・ 10/15 広報ひばり 86号 企画編集(企画決定)
編集開始 ※1月1日発行
- ・ 12/22 広報ひばり 86号 ご家族、各機関等へ発送
- ・ 12/28 広報ひばり 87号 企画編集(企画決定)
編集開始 ※4月1日発行
- ・ 1/1 広報ひばり 86号 発行
- ・ 3/29 広報ひばり 87号 ご家族、各機関等へ発送
- ・ 4/1 広報ひばり 87号 発行

- ・ 11/21 ホームページのリニューアル行う

【反省点】

- ・ 広報においては昨年に引き続き印刷関係にコロナウイルスの影響があり、早めに企画決定やデータの作成をする必要があった。
- ・ イベントごとに写真を撮影でき、様々な表情を掲載することができた。また、撮影時の背景の装飾も意識し、準備を行なった。次年度もイベントに限らず撮影を行ない、広報に載せていこうと思う。
- ・ 来年度も、ホームページの更新、確認を行う。

<学習計画班>

1.合同研修会（羽後町福祉施設合同研修会）

- ・新型コロナウイルスのため、合同研修会は開催することが出来なかった。

2.職員研修会（園内研修）

研修内容：「虐待防止、身体拘束について」

日時：令和5年1月16日（月）13時30分～15時30分

場所：ひばり野園 運動場 リモート研修

研修参加者：男女支援員15名程度

- ・虐待防止法改正と事業所運営について講義をして頂いた。

3.職員研修会（園内研修）

研修内容：救命蘇生について

- ・新型コロナウイルスのため、園内研修の救命蘇生は開催する事が出来なかった。

◇感染対策委員会（保健衛生班、感染対策班）

○目的

1. 利用者及び職員の疾病予防と健康増進を行う。
2. 感染症を予防する。
3. 感染症発生時の拡大防止と重症化防止を行う。

○実施内容

1-1. 疾病予防と健康増進について

- ①歯科検診 実施日：5月12日 対象：利用者全員
- ②春の健康診断 実施日：7月1日 対象：利用者全員、職員
- ③秋の健康診断 実施日：11月15日 対象：利用者全員
- ④インフルエンザ予防接種 実施日：11月9日（1回のみ）
対象：利用者全員、職員全員
- ⑤全館バルサン駆除実施：1回目 6月27日、28日 2回目 11月17日、18日

1-2. 生活環境の整備

- ①寝具の管理
 - ・リネン類の保管枚数の確認・補充・連絡、使用済みリネンを入れるポリ袋の補充
 - ・破損・汚損された寝具・リネン等の交換
 - ・使用済みリネン及び感染の恐れがある使用済みリネンの管理
 - ・防水シーツの補充、リネン庫の管理・清掃、定期的な敷布団交換
- ②居住空間の清潔保持と室温・湿度の調整と換気
 - ・居室用加湿タオルとポータブル加湿器の管理・補充（11月～3月）
 - ・居室・廊下の掃除機掛けとハイター消毒、換気の呼び掛け
- ③使用物品の管理補充
 - ・入浴時使用足拭きタオル・消毒薬品の管理と補充
 - ・電動歯ブラシ・替えブラシの購入・交換・メンテナンス
 - ・感染症予防物品の管理・補充

1-3. 個人衛生の確立（医務・支援課）

- ①口腔内の清潔保持
 - ・電動歯ブラシでの歯磨き支援、口腔内チェック
 - ・電動歯ブラシ本体と替えブラシの更新、在庫管理
- ②耳鼻の清潔
 - ・週1回の耳垢の除去、鼻毛処理
- ③水虫対策
 - ・定期チェック実施
- ④感冒予防
 - ・手洗い・うがい指導、衣類の調節・着替え支援、紅茶の提供
- ⑤感染症予防
 - ・手洗い・うがい指導、消毒の徹底
- ⑥熱中症予防
 - ・麦茶の提供、室温の調節
- ⑦排泄後処理の衛生管理、適切な支援指導
 - ・消毒液の使用、使い捨て手袋使用の徹底

2. 感染症予防について

- (1) 感染対策マニュアルの管理（変更・追補）
- (2) 消毒医薬の管理（補充・設置・表示）
- (3) 近隣・県内その他感染症発生情報の収集・提供、湯沢保健所発感染予防通信の掲示
- (4) 近隣での感染症流行に伴う外泊制限の設定
- (5) 利用者への衛生指導（利用者自治会学習会での手洗い実習、予防についての講話他）

3. 感染症発生時の拡大防止と重症化防止について

- (1) 感染症発生時の対応（※新型コロナウイルス感染症は対策本部が中心となって対応）
 - ・集団発生時…保健所への報告・相談、日課変更の設定
 - ・静養者への対応…静養室準備・職員配置・必要物品の確保・水分補給
- (2) 病状把握と受診への対応…流行期の検温設定・発熱者・有症状者の把握

○事業報告

引き続き、新型コロナ感染対策を継続している。今年度は2月前半に風邪症状が男子利用者さん20名・男子職員2名にみられたが、年間を通して体調不良者は少なかった。利用者さんも手洗いや手指消毒に慣れてきており、マスク着用も大半の方に協力して頂いている。引き続き委員会として必要な情報提供や周知を行なっていく。

春・秋の健康診断は今年度も運動場を主会場とし、換気を徹底しつつ昨年度の反省点を踏まえて実施し、概ねスムーズに進行できた。

バルサン駆除は計画通りに実施し、ダニ被害は全くなかった。リネン類や寝具の管理でも大きな問題はなく、加湿用・足拭き用バスタオルも適宜交換するなど生活空間の整備に努めた。

◇BCP委員会

自然災害等に対するBCPを年度末までに完成させることができた。引き続き見直しを検討に取り組みたい。

◇虐待防止・人権擁護委員会

○職員アンケート

- ・ 4月 職員振り返りシート
- ・ 11月 職員セルフチェック

いずれも集計後に虐待防止人権擁護委員会にて会議を行い、結果を報告するとともに、内容についての検討を実施、回覧にて全職員へ周知した。

○虐待防止・人権擁護研修

- ・ 「虐待防止・身体拘束について」介護労働安全センター秋田支部
(R4年1月16日) → 学習委員会に依頼し実施
- ・ 虐待防止権利擁護研修受講者による伝達研修(R4年2月3日・6日)

○運営基準の改正により義務化となる項目についての取り組み実施。

- ・ 労働環境・条件を確認・改善するための取り組みとしてメンタルヘルスチェックリストを作成しアンケート調査を実施する。(R5年10月予定)
- ・ 身体拘束の適正化のための指針作成。(R4年6月)
- ・ 虐待防止のための指針を作成。(R5年3月)
- ・ 委員の責務及び役割分担を年間計画とともに作成。(R5年3月)
- ・ 虐待防止委員会の責任者及び虐待担当を施設長とする。(R5年3月)
- ・ 専任の身体拘束等の適正化対策を担当する者を両課長とする。(R5年3月)
- ・ 虐待防止マネージャーを佐藤久夫・佐藤龍虎・黒澤紀子とする(R5年3月)

○その他

- ・ 虐待等に関する案件、要望等はありませんでした。

各作業班の事業報告

◇農作業班

○支援目標

自然（土）に親しみ、野菜や花を育て、加工品をつくるなどしながら個人の作業能力を引き出し、同時に働く喜びを重ねながら持続性を養い、自立に向けた支援を行う。

○作業内容と今後の課題

〔蔬菜〕

4月	耕起準備	5月	定植準備 そば蒔き
6月	雑草対策（耕起・除草剤）	8月	雑草対策（耕起・除草剤）
9月	畑地の除草		

〔園芸〕

4月	花壇準備、苗木購入	5月	花壇の花植え
6月	散水管理、除草等	7月	散水管理、除草等
8月	散水管理、追肥、除草等	11月	片付け

〔手芸、工作〕

・女子利用者中心に、主に運動場にてポリパックの作業を行なった。またビーズ通しやシール絵などの創作も行なうことが出来た。

〔アルミ缶リサイクル〕

・スチール缶との選別、缶つぶし、フレコンバックへの詰め込み、業者への搬入・納品を行なった。

〔蔬菜〕

・作物はミニトマト、きゅうり、バジルを栽培し、収穫時にはみんなで楽しくいただいた。ビニールハウスでの栽培だったので、病虫害の心配は少なく無消毒で管理ができた。水やりは灌水パイプを用いて散水を行なった。植え付けと収穫は男子、水の管理は女子と感染対策中も分担して行なうことが出来た。

〔園芸〕

・花壇に黒マルチや防草シートを張りマリーゴールドの植え付けを行なった。感染症対策の日課になり、当初用意した苗の植え付けが遅れてしまう事があった。また前庭に10カ所ほどプランターを設置し、色とりどりの花々を植えており、6月から秋ごろまで花を楽しむことが出来た。朝夕の水の管理は、職員と利用者が行なった。

・他、除草作業、食堂前花壇からの石を取り除く作業を行なっています。

〔製造〕

・地元企業からの委託を受けて、ウエス切りを行い、定期的に材料の受け入れ、完成品の納品を行った。

◇使用していない畑地の雑草対策として数回にわたる耕起・除草剤散布作業を行い畑地や隣接の草地の荒廃を防止した。

◇特に冬期間、男子の作業が菌床作業に偏りがちになってしまう為、ペレットの袋詰め作業を来季から取り入れる予定。

◇軽作業班

○支援目標

- ・自分の役割を理解し、正確な作業ができるように支援する。
- ・働くことに自信を持ち、喜びを感じることができるよう援助する。
- ・集中力を身に付け、意欲的に作業に取り組めるように働きかける。

○作業内容

- ・年間を通して「ポリパック結束」「ビーズ通し」等作業を行う。作業以外にも能力に応じた「はり絵作成」「ぬり絵」「パズル」等、趣味的活動も同時に行う。
- ・音楽療法士を招いての音楽療法の実施（月1回）コロナ禍で中止。

○経過と課題

・ポリパック結束

利用者の高齢化、重度化に伴い、正確な作業が出来るメンバーが減少しているため、職員による検品が必須である。

・ビーズ通し

高度な技術を必要とせず、マイペースで行なえるためか、比較的取りかかりやすい活動といえる。また、この活動を好む利用者も多く、集中して取り組む様子がみられた

・趣味活動

ポリパック作業への参加が困難な方への個別の趣味活動として、はり絵制作やぬり絵パズル等を取り入れたことにより、飽きずに参加できる利用者が増えた。

・盆踊りキーホルダー

職員の手による工程が多い。コロナ禍により注文数減少。

○今後について

ポリパックは正確性を求められ、なおかつ納期のある作業に積極的に参加できるメンバーは減少している。しかし、マイペースで行えるビーズ通し作業を好む利用者は増えて来ており、指先の巧緻性の維持、集中できる時間の確保のためにも、これまで同様環境を整え、継続していけるような工夫が必要である。

また、作業に参加すること自体を目的とした利用者も増え、はり絵作成、パズル、ぬり絵など個別に集中できるものを準備することにより、参加状況が安定したことから、今後もニーズに応える形での作業内容を考えていく必要がある。

今年もコロナ感染症の増加により音楽療法が実施できなかった。また、ポリパック作業は農業班の協力を得ながら納期以内に完成する事が出来た。

◇訓練班

○支援目標

- ・個々の特性に応じて、身体機能の維持、低下の防止を図る。
- ・各活動内容の中に、季節の行事やレクリエーションの機会を設け、気分転換と情緒の安定を図る。
- ・基本的生活動作の確立と、衛生管理に努める。
- ・創作活動による作品作りを通し情操を養い、目標を持ち達成感を得る。

○支援内容

- ・生活支援～整容 出張理髪 ドライブ レクリエーション 音楽療法
- ・創作活動～貼り絵 紙ちぎり お絵かき 塗り絵 作品作り
- ・訓練活動～整列 点呼 手洗い 排泄 ADL全般 機能訓練
- ・運動活動～ウォーキング 遊歩道散歩 ダンス 体操 身体機能訓練
- ・健康管理～日光浴 水分補給 身体状況把握 精神的情緒安定

○支援状況

- ・園の方針により、感染症対策の為各棟内で男女別の活動となっている。
- ・気分転換を図る為にもドライブを実施したが、その日の職員数の関係等により予定通り実施できないことが多かった。
- ・年2回のレクリエーション(男女別)を2回実施した。
- ・作業班会議を設け(年4回)、問題解決等に取り組んだ。
- ・おやつ(お菓子類等)の時間を取り入れて、楽しめる機会を増やした。
- ・各棟にて、いこい班と合同での活動のような状態となり、中々統一した活動が出来なかった。

○今後の取り組みについて

- ・園の方針として、感染症対策対応の期間をいつまで継続するのかにより、活動内容が大きく左右されることになる。
- ・各棟で工夫しながらも、利用者の立場に立った支援内容で取り組んでいきたい。
- ・興味をもって取り組めることを模索し、出来ることの発見に努めていきたい。
- ・引き続き、体育館への冷房完備を要望して行きたい。

◇いこいグループ

○支援目標

- ・心身ともに健康でおだやかな生活を送れるようなケアに努める。
- ・個々の特性に応じた身体機能の維持、低下防止を図る。
- ・各活動内容の中に、季節の行事やレクリエーションの機会を設け、気分転換と情緒の安定を図る。
- ・基本的生活動作の確立と、衛生管理に努める。

○支援内容

- ・生活支援～整容 ADL全般 出張理髪 ドライブ レクリエーション
- ・訓練活動～機能訓練(座位保持 ストレッチ ボール遊び 足浴 マッサージ ホットパック ボディシェイカー 等)。音楽鑑賞 映像鑑賞 リラクゼーション
- ・運動活動～ウォーキング 体操
- ・衛生清潔保持～洗面 歯磨き 保湿
- ・健康管理～日光浴 水分補給 身体状況把握 精神的(情緒)安定

○活動場所

- 男子棟ディルーム
- 女子棟ディルーム

○活動内容と今後について

・感染対策対応にて、男女棟へ分かれての活動となり、棟内で限られた事のみへの取り組みとなった。各棟内で、ほぼ訓練班と合同の活動であり、いこいのメンバーだけに集中した活動が難しい状態だった。

清潔保持や体調管理中心に、おやつの工夫などで楽しみを持ってもらった。

午後の活動時間には、ディルームテレビYouTubeにて座位保持向け体操に取り組み好評だった。

- ・個別支援や介護が必要な利用者中心のメンバー編成であるが、個々の得意分野を見出し、活動内容を検討し、様々な取り組みを提供していきたい。
- ・突発的要因（病気や骨折など）にて利用者の増員が予測され、その身体状況に応じ用具や必要な道具を準備していきたい。

◇生活班

○支援目標

- ・見通しの立つ活動を提供し、落ち着いた時間を過ごすことが出来るようにする。
- ・おやつやドライブ等の気分転換できる活動を提供し、リラックスした生活が出来るようにする。

○支援内容

- ・ボタン、ボルトナット、プットイン、折り紙、パズルの組み立て
落ち着いた利用者さんに対しては、エスケープゾーンを利用してもらう。
また、課題への取り組みは利用者さんの状態に合わせて取り組んでもらうようにする。
- ・パソコンを使っての文字入力とプリントアウト
パソコン作業においては、自ら打ち込み、プリントアウトした紙を手にする事で満足感や達成感につなげることが出来るようにする。
- ・音楽療法
月に1回、音楽療法の講師を招き、楽器演奏や音楽のプログラムを通して、楽しみながらも、生活の質の向上や問題行動の軽減などを図っている。
- ・レクリエーション ドライブ
月に数回のドライブの機会を設定する。また年に2回、ドライブや外食、会食を行ないストレス解消や親睦を図っている。

○今後の取り組みについて

- ・引き続き集中して取り組むことの出来る環境と作業の提供を行なう。
- ・気分転換を図るため、外出やウォーキングなどの機会を増やしていきたい。
- ・感染症対策のために、音楽療法などの外部講師を招くことが出来ない状況であった。感染状況が落ち着き次第、音楽療法の再開を検討していく。
- ・作業エリアは密集した空間になっており、感染症を防ぐために、室内や手指の消毒、換気などを徹底する。
- ・利用者さんの情緒の安定について、作業エリアで有効だったものは、生活エリアでも取り入れ、日々落ち着いた生活になるようアプローチを行なっていきたい。

◇菌床しいたけ班

○支援目標

菌床椎茸の栽培と乾燥椎茸の加工等を通じて、働く喜びを身につけることが出来るようにします。

○支援内容

1) 作業

- ・菌床椎茸の水、温度管理、袋取り、ブロックの入れ替えなどの作業。
- ・椎茸収穫時の運搬、清掃などの作業。
- ・ハウス内外、作業棟の清掃。
- ・乾燥スライスしいたけの製造。スライス、乾燥、計量、袋詰め等。
- ・乾燥椎茸製品の配達。
(福祉サロンまごころ、道の駅十文字、ビッグフレック湯沢店)
- ・生・乾燥椎茸の販売。

5/9 森XR-1椎茸菌床ブロック完熟(夏菌)搬入1,000個

11/8 森XR-1椎茸菌床ブロック完熟(冬菌)搬入1,000個

2) 経過

- ・しいたけ栽培は、温度や水分管理、害虫などの影響が多々あることから品質管理には十分に注意して作業に取り組んだ。
- ・収穫後の掃除以外にもハウス内の清掃を定期的に行い、衛生環境に配慮を行なった。
- ・夏菌については順調な生育を見せ、収穫をする事ができた。しかし高温期になると、害虫発生が見られるようになり、注意が必要だった。
- ・冬菌については、害虫の心配はなくなるも、温度管理が難しく、ハウス内が適温になるよう調整することに苦慮した。
- ・男子利用者は収穫の他、スライスした乾燥椎茸の作成を行った。ハウス内に乾燥機を導入した為、スライスから乾燥まで一貫して行なう事が出来るようになった。女子はスライスした物のパック詰めを行った。パック詰め時の分担が出来ており、毎度綺麗な製品に仕上げることが出来た。
- ・通年の作業であり、ある程度の分担が出来ている為、簡単な声掛けで作業に取り組む事が出来ている。しかし、冬季などは全員が関わられる作業がなく、手持無沙汰になる利用者もいる為、菌床作業以外の作業とのバランスをとりながら、みんなが作業に取り組めるよう配慮したい。

相談支援事業報告

報告期間 令和4年4月1日～令和5年3月31日

相談受付状況および 対応内容（延べ数）	来所相談	1件
	電話相談	1,077件
	訪問相談・対応	230件
	合計	1,308件

相談分類（件）	就労・経済	生活環境	制度・資源	医療・服薬	その他
	174	301	811	22	0

主たる障害種別	身体障害	知的障害	精神障害	その他	児童
	543	423	554	0	0

市町村別内訳	湯沢市	羽後町	東成瀬	横手市	その他
	78	1,764	0	24	42

新規ケース	新規計画	モニタリング
4件	4件	230件

<会議・研修>

4月	28日	湯沢雄勝包括支援ネットワーク協議会相談支援部会定例会
5月	26日	湯沢雄勝包括支援ネットワーク協議会相談支援部会定例会
6月	30日	湯沢雄勝包括支援ネットワーク協議会相談支援部会定例会
7月	21日	在宅医療、介護連携推進研究会
	28日	湯沢雄勝包括支援ネットワーク協議会相談支援部会定例会
8月	25日	湯沢雄勝包括支援ネットワーク協議会相談支援部会定例会
9月	29日	湯沢雄勝包括支援ネットワーク協議会相談支援部会定例会
10月	27日	湯沢雄勝包括支援ネットワーク協議会相談支援部会定例会
11月	17日	湯沢市基幹相談支援センターによる事業所訪問
	24日	湯沢雄勝包括支援ネットワーク協議会相談支援部会定例会
12月	12日	高次脳機能障害オンライン研修会
	22日	湯沢雄勝包括支援ネットワーク協議会相談支援部会定例会
1月	26日	湯沢雄勝包括支援ネットワーク協議会相談支援部会定例会
	21日	介護支援専門員と相談支援専門員の連携を深める研修会
2月	17日	更生保護制度オンライン研修会
	23日	湯沢雄勝包括支援ネットワーク協議会相談支援部会定例会
3月	30日	湯沢雄勝包括支援ネットワーク協議会相談支援部会定例会

短期入所・日中一時支援・生活介護 事業報告

○短期入所

コロナ禍、職員シフトの課題が多く実施できなかった。

3月現在 男子1名 女子1名の希望あり。

○日中一時支援、生活介護

新規で数件の利用希望（打診）があったが相談や契約までには至らなかった。

入所と通所が別棟である事が最大の強みであり、コロナ禍でも影響なく継続開所できた。

利用状況

・日中一時支援

定期的に利用の方、数か月に一度程度の利用の方と頻度に大きな差異があるが、放課後等デイサービスと比較し、自由度が高く利用頻度や個々に合わせた支援を行った。学生の平日送迎を行った。

・生活介護

利用者が増え一対一の支援が困難な場面もあるが、個別支援計画に基づき僅かな変化などに留意した。

家族との連携も不可欠であり、連絡を密にするように心掛けた。

通所利用という限られた中での行動分析などの統計は取りづらい状況ではあるが、明らかに行動が改善されているケースも見受けられるため、今後も継続した支援が必要と思われる。

園外レクリエーションを企画し利用者、ご家族にも好評であった。

送迎も、必要に応じて調整は行ったが概ね順調に運行できた。

利用者の健康状態について（医務報告）

1. 健康診断・その他の活動及び結果について

- 4月 定期健康診断（春） 7月1日（※新型コロナ流行の影響により日程を延期して実施）
（胸部X-P・心電図・身体計測・視力・聴力・採血・検尿・血圧）
71名実施（※6名欠員、3名は入所時健康診断書持参にて省略）
要精検者38名（1項目だけでも異常値となった方）
- 5月 歯科検診…荘司歯科医院から歯科医師・歯科衛生士来園
齲歯・歯周病・義歯の状態について検診
73名実施、要治療者11名
- 7月 新型コロナウイルスワクチン接種 7月13日
（4回目 68名、3回目 1名、計 69名。
※接種を希望しない2名・都合により別日程となった3名を除く）
- 11月 インフルエンザワクチン接種 11月9日
1日の日程で全員接種（74名）
- 11月 定期健康診断（秋） 11月15日
（身体計測・採血・検尿・血圧・腫瘍マーカー検査）
74名実施（※6名欠員）
要精検者48名（1項目だけでも異常値となった方）
- 12月 新型コロナウイルスワクチン接種 12月7日
（5回目 69名、4回目 2名（短期入所1名含む）、3回目 1名。計 72名。
※接種を希望しない2名・都合により別日程となった1名を除く）

2. 通院状況について

令和4年度（2022年度）全科受診延べ人数329名

1) 内科 受診延べ人数54名

発熱や風邪症状など急性症状によるもの、健康診断で要精検となったときの二次検診、喘息、糖尿病・貧血・高血圧・腎機能障害・甲状腺機能低下症などの生活習慣病や慢性疾患、肺癌（疑い含む）、腎盂炎・膀胱炎・尿路感染、下肢浮腫、徐脈、低血圧症、めまい、意識レベル低下、B型肝炎の疑い、風しん抗体検査、肺炎球菌ワクチン接種、新型コロナウイルスワクチン接種など。

2) 消化器科 受診延べ人数21名

下痢・腹痛・嘔吐など急性症状によるもの、食欲不振、低血糖、便秘、ガス腹、体重減少、潰瘍性大腸炎、低アルブミン血症、B型肝炎、健康診断後の二次検診、胃ポリープ・糖尿病・胆石・逆流性食道炎などの定期検査など。

3) 外科 受診延べ人数10名

外傷、乳癌術後の定期受診、肺癌の疑い（二次検診）など。

4) 精神科 受診延べ人数53名

定期診察・脳波検査、てんかん・躁状態・不眠・統合失調症等精神症状の変調、障害支援区分認定調査用医師意見書・自立支援医療（精神通院）用診断書など各種診断書作成のための受診など。

5) 脳神経外科 受診のべ人数 4名

頭部打撲、頭部CT検査、てんかんの定期状態報告など。

- 6) 歯科 受診延べ人数83名
義歯作成・義歯調整・歯周チェックと歯石除去、歯周病・虫歯治療・抜歯・歯肉の炎症、口内炎、全身麻酔下での歯科治療など。
- 7) 耳鼻科 受診延べ人数 7名
アレルギー性鼻炎、副鼻腔炎、耳漏、内・外耳の外傷・炎症、中耳炎、耳垢塞栓、良性発作性頭位めまい症など。
- 8) 眼科 受診延べ人数 9名
目の充血、白内障、結膜炎、眼瞼炎、眼周囲炎、ドライアイ、眼の外傷、目の周囲の打撲、麦粒腫、左前房出血など。
- 9) 皮膚科 受診延べ人数14名
体の痒み、掻き壊し・ただれ、尋常性乾癬、白癬、真菌症、発疹・湿疹・脂漏性湿疹・皮脂欠乏性湿疹、皮膚炎・脂漏性皮膚炎、毛囊炎、巻き爪、胼胝、角化症、など。
- 10) 整形外科 受診延べ人数60名
骨折、打撲、捻挫、身体各部の痛み・腫張、滑液包炎、蜂窩織炎、陥入爪、骨粗鬆症、関節リウマチ、脊椎管狭窄症疑い、MRIルーチン検査（股関節・腰椎）、身体障害者手帳用・装具作成用診断書作成など。
- 11) 泌尿器科 受診延べ人数 8名
神経因性膀胱、頻尿、排尿障害、陰嚢水腫、前立腺肥大、前立腺癌（ホルモン療法）、尿路感染、陰部・大腿部内側皮膚真菌症など。
- 12) 婦人科 受診延べ人数 6名
婦人科疾患・検診、月経前不快気分障害の疑い、健康診断後の二次検診など。

3. 感染症について

- 1) 新型コロナウイルス、インフルエンザ、ノロウイルス等について
 - ・新型コロナウイルス、インフルエンザ、ノロウイルスいずれも感染者はなかった。
 - ・2月前半に男子棟にかぜ様症状がみられ、利用者20名が罹患したが、コロナ・インフルともに陰性で、重篤症状もなし。
- 2) 皮膚疾患
 - ・平成27年（2015年）12月以降疥癬診断者は見られない。

4. 今後の課題

- ・新型コロナウイルス感染対策に伴い、日常の健康管理や衛生管理に加えて通年園の行事の変更や園外部との交流の制限が続いている。園内でも利用者様や職員の男女の交流を制限するなどあらゆる感染対策を講じており、今年度も利用者様に新型コロナやインフルエンザなどの感染症の罹患者は出なかった。
周辺地域の感染症の発生状況など常に情報収集しながら、引き続き日常の健康管理や衛生管理に十分に注意するよう努め、感染予防の徹底を図る。
- ・今年度は新型コロナウイルス緩和により歯科医師が来園し歯科検診が行われた。歯科検診後医師より治療の指摘があった利用者様は通院や全身麻酔下での治療も行なった。日々の歯磨き介助を丁寧に行ない、口腔トラブルの防止強化に努めていく。
- ・ここ数年、施設入所支援の利用者様の平均年齢は50歳前後で推移しており、今年度末の時点の最高年齢は男性が84歳、女性が78歳となった。今年度中の入院者数は、平均年齢が45歳前後だった平成21年度（2009年度）以来の少ない人数であった。誤嚥性肺炎で56日の入院後、

家族希望により園を退所され、県外の病院に転院された方1名。転倒で左肘頭骨折・手術1名、左橈骨遠位関節内骨折・手術1名となった方も高齢であり、加齢による身体・精神面の変化を見逃さず支援していくことが必要と思われた。

利用者様が高齢となっても元気に毎日を過ごされ、最期をどのように迎えるかについても、園での看取りケアも視野に入れて検討し、当園の現在提供しているサービス内容やご家族の希望を踏まえつつ共に考えていきたい。

5. 令和4年度（2022年度）入院状況（2泊以上の入院者：延べ4名）

入院者	入院先	病名	入院期間	入院日数
A	町立羽後病院 整形外科	左肘頭骨折手術	令和4年4月25日～ 5月6日	12日間
B	町立羽後病院 内科	誤嚥性肺炎	令和4年12月21日～ 令和5年2月14日	56日間
C	町立羽後病院 整形外科	左橈骨遠位関節内 骨折	令和5年2月20日～ 2月21日	2日間
D	町立羽後病院 消化器科	糖尿病	令和5年3月13日～ (4月25日)	44日間

◇施設外研修

実施月日	研修名	主催	場所	参加職種	参加者名	研修日数	詳細	研修結果の報告方法
R4. 4. 15	第1回施設長連絡会・部会協議会	秋田県知的障害者福祉協会	オンライン	施設長	後藤 清作	1日	事業報告等	復命書作成
R4. 4. 22	令和4年度総会	秋田県知的障害者福祉協会及び秋田県知的障害児者生活サポート協会	オンライン	施設長	後藤 清作	1日	事業報告並びに事業計画について（収支予算・決算）	復命書作成
R4. 6. 3	令和4年度総会	秋田県社会福祉法人経営者協議会	秋田キャススルホテル	理事長 施設長	高橋武太郎 後藤 清作	1日	事業報告並びに事業計画について（収支予算・決算）	復命書作成
R4. 6. 7	運営会議	湯沢雄勝障害者就業・生活支援センター あ	湯沢グランドホテル	施設長	後藤 清作	1日	事業報告等	復命書作成
R4. 6. 10	令和4年度総会	秋田県社会福祉法人経営者協議会 県南地区ブロック連絡会	横手市松興会館	理事長 施設長	高橋武太郎 後藤 清作	1日	事業報告並びに事業計画について（収支予算・決算）	復命書作成
R4. 6. 17	第24回通常総会	JAこまち椎茸部会	湯沢グランドホテル	支援員	照井 新悟	1日	事業報告並びに事業計画について（収支予算・決算）	復命書作成
R4. 6. 24	令和4年度第1回運営会議	湯沢雄勝地域包括支援ネットワーク協議会	湯沢市役所	施設長	後藤 清作	1日	事業報告並びに事業計画について（収支予算・決算）	復命書作成
R4. 7. 14	福祉職員キャリアパス対応研修課程	秋田県社会福祉協議会	秋田県社会福祉会館	支援員	藤原 悠	2日	初任者コース	復命書作成
R4. 7. 20	タイムマネジメント研修	秋田県社会福祉協議会	秋田県社会福祉会館	支援員	柴田 智晴	1日	時間管理について考える	復命書作成

R4.7.21	福祉職員キャリアパス対応 応生研修課程	秋田県社会福祉協議会	秋田県社会福祉 会館	支援係長 支援係長	柴田 早苗 藤原美奈子	2日	チームリーダーコース	復命書作成
R4.7.29	都道府県経営協セミナー (前期)	全国社会福祉法人経営者 協議会	秋田県社会福祉 会館	理事長 支援課長 総務係長	高橋武太郎 佐藤 龍虎 土田 庄治	1日	徹底解説！経営基盤を強く する経営協メニュー	復命書作成
R4.8.31	法人後見受任体制整備研 修会	秋田県社会福祉協議会	オンライン	施設長 総務係長	後藤 清作 伊藤 忠勝	1日	法人後見の必要性と取り組 む意義	復命書作成
R4.9.2	社会福祉法人会計実務者オ ンライン研修会	秋田県社会福祉法人経営 者協議会 秋田県福祉施設経営指導 センター	オンライン	理事長 施設長 総務主任	高橋武太郎 後藤 清作 佐々木尚子	1日	中級クラス	復命書作成
R4.9.8	労働基準法の基本セミ ナー	秋田働き方改革推進支援 センター	サンサン横手	総務係長	土田 庄治	1日	労働時間の適正な把握	復命書作成
R4.9.9	秋田県知的障害者福祉協 会職員研修会	秋田県知的障害者福祉協 協会	オンライン	支援課長	佐藤 久夫	1日	新型コロナウイルス感染症 に係る入所施設の取り組み について	復命書作成
R4.9.14	秋田県知的障害者福祉協 会第2回施設長連絡会・ 部会協議会	秋田県知的障害者福祉協 協会	オンライン	施設長	後藤 清作	1日	中央情勢報告	復命書作成
R4.9.17	意思決定支援と虐待防止 に関する研修会	全国障害者総合福祉セン ター	オンライン	支援員	斉藤 美聡	2日	意思決定支援と虐待防止の 理解を深める	復命書作成
R4.9.27	東北地区知的障害者福祉 協会専門研修会	東北地区知的障害者福祉 協会 秋田県知的障害者福祉協 会	オンライン	支援課長補 佐	黒澤 紀子	2日	個別支援計画をPDCAサイク ルで考える	復命書作成
R4.9.30	高齢者雇用管理セミ ナー	秋田労働局	秋田県障害学習 センター	総務係長	土田 庄治	1日	高齢者雇用安定法につい て	復命書作成

R4. 10. 3	社会福祉法人理事者セミナー	秋田県社会福祉法人経営者協議会	秋田キヤッスルホテル	理事長 施設長	高橋武太郎 後藤清作	1日	社会福祉法人における国の動向と全国経営協の取り組み	復命書作成
R4. 10. 4	施設給食担当職員研修	秋田県社会福祉協議会	秋田県社会福祉会館	管理栄養士	佐藤有里子	1日	約束手食基準を見直そう	復命書作成
R4. 10. 17	虐待防止・権利擁護研修会	東京都社会福祉協議会	オンライン	支援員 支援員	柴田勝子 遠田彩香	1日	障害者虐待防止法の理解と身体拘束適正化について	復命書作成
R4. 10. 19	湯沢雄勝障害者差別解消支援地域協議会	湯沢雄勝障害者差別解消支援地域協議会	湯沢市役所	施設長	後藤清作	1日	湯沢雄勝地域における障害者差別について	復命書作成
R4. 10. 27	湯沢市雄勝郡社会福祉入所施設協議会研修会	湯沢雄勝障害者差別解消支援地域協議会	オンライン	施設長	後藤清作	1日	支え合う命の中で、できること	復命書作成
R4. 10. 28	パワハラ防止対策セミナー	秋田働き方改革推進支援センター	ホテルメトロポリタン秋田	支援主任	齊藤紀昭	1日	改正育児・介護休業法について労働施策総合推進法と対応方法について	復命書作成
R4. 11. 4	発信力アップセミナー	秋田県社会福祉法人経営者協議会県南地区プロジェクト連絡会	大仙市グラウンドパレス川端	理事長 施設長	高橋武太郎 後藤清作	1日	社会福祉法人のPR作戦について	復命書作成
R4. 11. 7	過労死等防止対策推進シンポジウム	秋田労働局	秋田市にぎわう交流館「あう」	総務係長	土田庄治	1日	労働時間の推移、他	復命書作成
R4. 11. 14	ハラスメント相談窓口担当者向けセミナー	秋田産業保健総合支援センター 秋田働き方改革推進支援センター	大曲市民会館	管理栄養士	佐藤有里子	1日	ハラスメント防止対策に必要な相談対応	復命書作成
R4. 11. 15	社会福祉法人監事研修	秋田県社会福祉協議会	秋田県社会福祉会館	監事	東海林久	1日	強行行動障害支援における医療との連携について	復命書作成

R4. 11. 21	福祉職員キャリアパス対応 応生涯研修課程	秋田県社会福祉協議会	秋田県社会福祉 会館	支援主任	齊藤 紀昭	2日	中堅職員コース	復命書作成
R4. 12. 7	知的発達障害者 利用 者支援研究会	東京都社会福祉協議会	オンライン	管理栄養士	佐藤有里子	1日	高齢・知的障害者の食事と その支援について	復命書作成
R4. 12. 8	秋田県社会保険労務士会 セミナー	秋田県社会保険労務士会	ホテルメトロポリ リタン秋田	総務係長	土田 庄治	1日	最新！人事考課制度のポイ ント	復命書作成
R4. 12. 12	情報交換会	秋田県社会福祉法人経営 者協議会	秋田県社会福祉 会館	理事長 施設長	高橋武太郎 後藤 清作	1日	障害保健福祉施策の現状と 今後の動向	復命書作成
R4. 12. 21	意思決定支援研修会	秋田県社会福祉協議会	秋田市市民交流 プラザ	施設長	後藤 清作	1日	権利擁護としての意思決定 支援の必要性	復命書作成
R4. 12. 27	湯沢雄勝地域定住自立圏 共生ビジョン懇談会	湯沢市	湯沢市役所	施設長	後藤 清作	1日	事業実績報告	復命書作成
R5. 1. 10	施設等相談援助職員研修	秋田県社会福祉協議会	秋田県社会福祉 会館	支援主任	土田 律子	1日	社会福祉におけるコミュニ ケーション技術	復命書作成
R5. 1. 13	知的発達障害者 利用 者支援研究会	東京都社会福祉協議会 栄養調理スタッフ会	オンライン	管理栄養士	佐藤有里子	1日	嚥下調整食 学会分類2021 の実践	復命書作成
R5. 1. 13	障害福祉関係団体合同研 修会	秋田県障害福祉関係団体 協議会	オンライン	支援課長	佐藤 久夫	1日	秋田県における障害者の重 度・高齢化の実態と地域移 行政策について	復命書作成
R5. 1. 16	部下・後輩を育てるコー チング	東京都社会福祉協議会	オンライン	総務係長	伊藤 忠勝	1日	人材育成の考え方	復命書作成

R5. 2. 8	都道府県経営協セミナー (後期)	全国社会福祉法人経営者 協議会	秋田県社会福祉 会館	理事長 施設長	高橋武太郎 後藤 清作	1日	コロナにも物価高にも負け ない！未来に続く法人経営 のヒント	復命書作成
R5. 2. 28	やまばと園 虐待防止特 別委員会	やまばと園	やまばと園	施設長	後藤 清作	1日	虐待防止の取り組み状況	復命書作成
R5. 2. 24	社会福祉法人決算実務者 研修会	秋田県社会福祉法人経営 者協議会	オンライン	総務主任	佐々木尚子	1日	社会福祉法人の会計のポイ ント、新制度の理解	復命書作成
R5. 3. 20	湯沢市基幹相談支援セン ター評価会議	湯沢市基幹相談支援セン ター	湯沢市役所	施設長	後藤 清作	1日	実績報告	復命書作成
R5. 3. 1	労務管理セミナー	秋田県社会福祉法人経営 者協議会 県南地区プロッ ク連絡会	横手セントラル ホテル	理事長 施設長	高橋武太郎 後藤 清作	1日	各種別情勢報告と課題につ いて	復命書作成
R5. 3. 1	福祉職員キャリアパス対 応生涯研修課程	秋田県社会福祉協議会	秋田県社会福祉 会館	支援主任	土田 律子	2日	チームリーダーコース	復命書作成